

学校種別: 大学

所在地都道府県: 京都府

学校名 課程名: 京都精華大学 デザイン学部 建築学科

学校課程コード: 2615-101-250

審査受付番号: 171265

対象入学年: 令和7年度(2025年度) 修業年限: 4 年

必要な実務経験年数 試験時: 最短0年 登録時: 最短0年

新規申請の認定通知日: 2017/03/31

変更申請の認定通知日: 2024/12/24

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	製図模型実習3	1 年	1.5
①建築設計製図	建築応用実習1	2～4 年	3
①建築設計製図	建築応用実習3	3～4 年	6
①建築設計製図	建築応用実習4	3～4 年	6
①建築設計製図	建築環境基礎実習3	1 年	1.5
①建築設計製図	建築環境基礎実習4	1 年	1.5
①建築設計製図	プレゼンテーション実習	1 年	1.5
①建築設計製図	建築応用実習2	2～4 年	3
小計			24
②建築計画③建築環境工学④建築設備	日本建築史	2～4 年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	西洋建築史	2～4 年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画1	1～4 年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	近現代建築史	1～4 年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住環境論	2～4 年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画2	3～4 年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境工学	3～4 年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	設備工学	3～4 年	2
小計			14
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造	2～4 年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築力学	2～4 年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	一般構造	1～4 年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構法実習	2 年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	材料実験	3～4 年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料学	2～4 年	2
小計			12
⑧建築生産	伝統建築工法	2～4 年	2
⑧建築生産	積算実習	3～4 年	2
⑧建築生産	建築施工	3～4 年	2
小計			6
⑨建築法規	建築法規	3～4 年	2
小計			2
⑩複合関連科目	測量実習	2～4 年	2
⑩複合関連科目	コンピューター基礎実習1	2 年	3
⑩複合関連科目	まちづくりデザイン論1	2～4 年	1
⑩複合関連科目	まちづくりデザイン論2	2～4 年	1
⑩複合関連科目	ランドスケープデザイン論1	2～4 年	1
⑩複合関連科目	ランドスケープデザイン論2	2～4 年	1
⑩複合関連科目	建築環境デザイン実習1	1 年	1
⑩複合関連科目	建築環境デザイン実習2	1 年	1
⑩複合関連科目	コンピューター基礎実習2	2 年	3
小計			14

学校種別: 大学
所在地都道府県: 京都府
学校名 課程名: 京都精華大学 デザイン学部 建築学科

学校課程コード: 2615-101-250
審査受付番号: 171265

対象入学年: 令和7年度(2025年度) 修業年限: 4 年
必要な実務経験年数 試験時: 最短0年 登録時: 最短0年

新規申請の認定通知日: 2017/03/31
変更申請の認定通知日: 2024/12/24

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	58
		①～⑩計	72

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上	②③④ 2単位以上	⑤⑥⑦ 3単位以上	⑧ 1単位以上	⑨ 1単位以上
---------	-----------	-----------	---------	---------

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例: 上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時: 0年 登録時: 0年となる)。